



	書名	著者名	請求記号
1	クロスファイア 上・下	宮部みゆき著	913.6/70/1～2
2	お互い40代婚	たかぎなおこ著	726/Ta
3	ぼくは勉強ができない	山田詠美著	913.6/Ya
4	少年の名はジルベール	竹宮恵子著	726/Ta
5	氷室冴子とその時代	嵯峨景子著	910/Sa
6	藤子不二雄(A) 藤子・F・不二雄：二人で少年漫画ばかり描いてきた	藤子・F・不二雄、藤子不二雄(A)著	289/Fu
7	綿の国星	大島弓子著	726.1/Os/1～4
8	ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部 舞台脚本 愛蔵版	J.K.ローリング、ジョン・ティファニー、ジャック・ソーン著、ジャック・ソーン舞台脚本、松岡佑子訳	932/Ro/1-2
9	ハサミ男	殊能将之著	913.6/Sh
10	こだまでしょうか、いいえ、誰でも。	金子みすゞ著	911/Ka
11	あさ	谷川俊太郎文・詩、吉村和敏写真	911/Ta
12	心を整える。：勝利をたぐり寄せるための56の習慣	長谷部誠著	783/Ha
13	色を奏でる	志村ふくみ文、井上隆雄写真	753/Sh
14	おむすびの祈り：「森のイスキア」こころの歳時記	佐藤初女著	914/Sa
15	Factfulness：10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣	ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド著、上杉周作、関美和訳	002/Ro
16	こころの処方箋	河合隼雄著	080/11

クロスファイア 上・下

(著) 宮部 みゆき

小学生の頃、何よりもマンガが大好きで、本を読むことがあまり無かった私に、本好きの母から「難しいかもしれないけど読んでみない？」と、差し出されたこの一冊をきっかけに、本が大好きになりました。分からない言葉・表現を辞書で調べつつ読み進めると、より物語のイメージが広がって嬉しかった記憶があります。

—小説のあらすじ— ある男たちの殺害現場を目撃した主人公OLの青木淳子は、「110イロキネシス」の力を使い掌から炎を放って2人を焼き殺し...!? 衝撃的なシーンから物語は始まります。

お互い 40代婚

たかぎなおこ 著

私の人生の指針の一つであるたかぎさんの将来への不安→良い人との出会い→同棲→結婚→赤ちゃん!? と、衝撃的な一冊です。「ひとり」を合い言葉にした作品が多く、勝手に親近感を持っていて、きっとそのまま一人で...自分ももしかしたら... なんて重ねていたのが驚きでした。

読み進めると「今のうちにやれることはやっておこう。自分なりに行動して結局年老いてひとりだったとしても、それはそれでスッカリ。」という場面があり、胸に刺さりました。全くその通りだなと思います。私自身、今何もしないで後悔するのはイヤ! という精神で色々チャレンジしてきました。将来に対しても、今やれることをやっておこう! そう改めて思わせてくれた、大切な一冊です。

ほんとは勉強ができない



山田 詠美

私が初めてこの本を読んだのは大学生の時だ。

主人公のようには同級生がいいたら絶対好きになれたろうと思っ
た。就職して実家も離れた時、どうしても読みたくなってきた。

主人公は高校生だったけど、年齢を重ねて読み返すたび

彼の周りにいる、年上の彼女や母親、祖父の発する言葉に、

それを受けて自分の言葉で自己を省める主人公に

毎回自分の思い込みや考え方のクセに気が付かれ

ハッとする。さ、とこれからも何回も
読み返すだろう。

少年の名は ジルベール

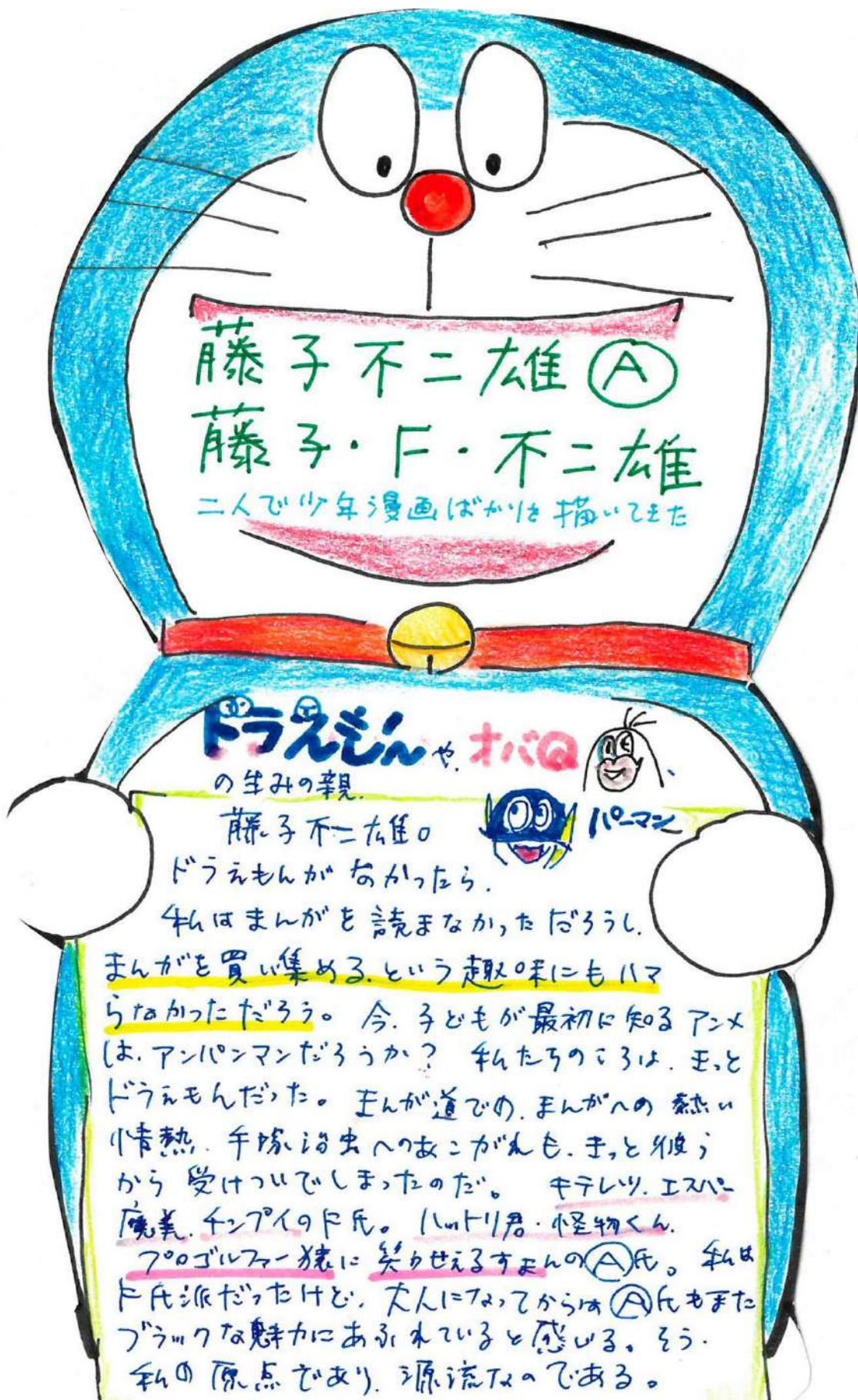
竹宮恵子

1970年代に描かれた竹宮恵子の代表作
『風と木の詩』を私バチにとったのは1990年代。
少女マンガをあまり読んでこなかった私には
とにかく衝撃的な内容で、1回読んでから
深く記憶に刻まれた。主人公の名はジルベール。
金髪碧眼の少年だ。

今でこそBLというジャンルが生まれ、作品も
たくさんあるけれど『風と木の詩』ほど
感情に訴えてくる少女マンガに出会ったことは
ない。

このエッセイを読んで少しでも関心を持ち、ならば
是非『風と木の詩』を読んでほしいと思う。





綿の国星

1年着なかった服は捨てようという断捨離本に「本では二度と着に入れられないから捨てられようという一冊があり、服を好きに穿て服も同じものには着られない」と首を傾げることがあるが、体型、年齢、TPOと永遠に着ることが難しい服に比べて簡単にいつでも再読することができる本。しかし服と同じではいられないので初読と同じ体験はできない。価値観も時代で移り変わるのて年をとってしまいがちなものも多い。そんな中で昔読んだときと違、面白いとときめく瞬間は甘美である。私にとって再読し始めて物語が自分に浸透して感動したのが『綿の国星』だった。

小学生のころ表紙のかわいらしさに惹かれて父にねがって買ってもらった本よくわかってきた。高校主になつてふと図書館で大島弓子の他の文庫編で読んでみたところ胸にくるものがある。改めて読み返してみたら、言葉と理解しに及ばないくらいに... ちび猫の目を通して世界が輝いて見えるようになっていた。ずっと大切に読んで読みたい本である。

もしもなら、合わないとき放してしまふ、人のために図書館に貸し出しはしない。

過去にお別れした物語を探し読み返してみませんか？

Harry Potter

読書好きで、小さい頃から図書館で働いているのは、ハリー・ポッターだ。だからなのかもしれない。人生で唯一、発売日を待って全巻読み続けた物語だ。日本で映画公開されたときには、既に3巻まで発売されていたので、その前からというのほ少し自慢である。初めての海外旅行で本屋に見たことのない魔法使いの本が、山積みだったことを覚えている。日本発売を知り、学校の図書館に入れてもらうようお願いしていたのだった。その後の大ヒットについては説明要らず。ハリー・ポッターの子どもたちにとっては魔法といえはハリー・ポッターだろう。遠慮なく内容に触れるとして、私は3作目の「アズカバンの囚人」が何よりも好きだ。バスの中で「タックス」と声をあげてしまった思い出。それまでほとんど魔法学校で活躍しても最後には辛い現実には帰るしかなかったハリーにシリウスとの未来という希望が持たされた。シリウスと家に帰るラストシーン... いままでに夢に見た、頭の中にLemonが流れてしまう。シリウスの死は発売前に友人によるネタバレを受け(故意だったのか、今でも許せない)覚悟して読んでいたが... 納得していない! 5巻くらいから気がついたけど「クロウング」氏といふ推しが合わない。花を持ってきたそのうち... なるほど、それでも夢中にしていく。ただ、ハリーの息子のジェームズのミドルネームがシリウスだったこと、ワイキペディアじゃないと載らない、アルバスはセルブスだったというのに... いくらでも語れるけど、紙面がバツなので終わる。

へ、呪いの子ハリー・ポッターが主役の「舞台脚本」で「お芝居+魔法の脳内体験」に夢中になりましたよ!

ハサミ男

この本を読んで思ったのは、「思い込みや先入感の内容でこんなにも違う印象を受けるのか」でした。「当たり前でしょ？」と思われるかもしれませんが。

それでも、結末を知った上で文章の内容を想像した時、最初の『わたし』とは全く別人の『わたし』になっているのを感じた時、とても驚いたと同時になんだか、ドキドキしました。「何言ってるんだか...」と言われてしまいそうですが、私をどうしてそう感じたのかは全然分かりません。もっと言うてしまうと何でこの本を選んだかも、明確に答えられないと思います。自分のまだ知らない

感性が自分の中にあるのかもしれない。
そう気付かせてくれたと言う
意味では、影響を受けて
いるのかも
しれません。



こたまでしょうか、
いいえ、誰でも。

落ち込んだり、自分の存在を否定されて
怖くて身動きが取れなかったりした時に
金子みすゞの詩に出会いました。

中でも、「私と小鳥と鈴と」にとてそ励まされた
のを覚えています。「頭おかしいんじゃないの？」

「だからダメなんだ!!」と否定された時、この詩
を読んで、「みんなちがって、みんないい」人だと思っ

ことで自分を守ることが出来ました。人によって
捉え方はそれぞれ。考え方そ人それぞれ。

言い方だって、接し方だって人それぞれ。悪い事だけ
に目を向けるのではなく、良い事にも目を向
けて、大切にする。そんな当たり前の
ことに気付かせてくれました。

谷川俊太郎は、大人向けの詩、子どものことば
あそび、絵本、作詞、翻訳と幅広く
作品を作り、活躍している。

いつも傍らにというわけではなけれど、ふとした
時に「いいねー」と元氣と勇氣をもらえる作品が
多い。子どものようなちよとやがままな大人のような
作品の世界観がいつまでも夢や希望を忘れちゃ
いけない気持ちにさせてくれる!!

紹介している本は ⇒ 『あさ／朝』 谷川俊太郎著
吉村和敏写真
アリス館

函字楽字図書館情報センターの HPからも見られます!
「ずいひつ No.148」にも載せている。

この本はサッカー日本代表キャプテンだった
長谷部誠氏の本である。

リーダーとは? 人からの信頼を得るため
には? というテーマでもあるかもしれない。

何度も読み返している。

成功には、必ず準備が必要なんだと
思う。

『色を奏でる』

志村ふくみ・文 / 井上隆雄・写真

「草木がすでに抱えている色を私たちはいただく」と語る
染色家の志村ふくみさんのエッセイです。

自然の色をどうかして生かしたい、その主張を聞きとけたいと、
自然の諸現象を深く見つめ、季節の音色に耳を澄ませる……
その姿勢と作品に深く感銘を受けました。

すべては自然の中にあり、人の生もまたそうなのだと感じます。

エッセイの間にはさまれた美しい写真は井上隆雄さんによるもの。
ここに井上さんのあとがきを引用します。

「人間が、自然の中で、人間であり続けてきた歴史のように、
自然との交感、人は欠かすべし、糧である。」

『おむすびの祈り』

—「森のイスキア」こころの歳時記」

佐藤初女 著

佐藤初女さんを知ったのは『^{ガイア シンフォニー}地球交響曲 第2番』という
ドキュメンタリー映画でした。映像を観ながら静かな涙が流れ、
この本を手に入れました。

「私にとっては生活すべてが祈りです」とおっしゃる言葉がとても印象的で、
その手に深くあたたかい母の愛のようなものを感じました。

食べることはいのちをいただき活かすこと、素材のいのちを大切に扱いながら
心をこめてゆっくりお料理をされる姿、目の前の人に寄り添われる姿、
初女さんの「力の祈り」が映画からも本からも伝わってきます。

小荒ただしく過ごしていると、丁寧に生きることが難しいときも

ありますが、生かされていることに感謝し、日々

心を尽くそうと思わせてくれる一冊です。

タイトル

FACTFULNESS (ファクトフルネス)

10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣

著者

ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロランド

世界の事実に関する3択クイズに答えてみよう。

多くの人の正解率が、チンパンジーに負けている。

あなたの正解率は?! (チンパンジーの正解率は33%)

私は世界に関する認識の圧倒的な知識不足・勘違いに頭をガツンとやられた気がしました。ドラマチックストーリーを信じる前にデータを確認してみようと思います。

脳内アップデートしよう

ビジネスチャンスのヒントがここにある
一文字で表すと……?

笑 泣 楽 驚 学

こころの処方箋

河合隼雄

学生時代、私は良くも悪くも人に無関心だった
社会人になり、この本を勧められて読み、
いろいろな人がいることを知った。

相手を知る・見る・考える

人とのつきあい方、こころの持ちかたを教わった一冊。
一文字で表すと……?

笑 泣 楽 驚 学



愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2021年 2～3月

一冊が気づかせてくれた。～私の大切な本～

